

2026年 7月

星の教室

高田 郁

明日を、あきらめない。人生を、手放さない。そういう思いの込められた作品です。

主人公のさやかは、中学の卒業証書を受け取っていない。もちろんそれには大きな理由があるのだが、義務教育をまともに終えていないということが、心の中にわだかまりとして残り、自分を生き辛くさせていた。そんな時に夜間中学という存在を知り、20歳の春、さやかは夜間中学への入学を果たす・・・。

作者の書いたあとがきに、『皆さまに、お願いがあります。もしも、周囲に夜間中学を必要としているかたが居られるなら、「こういう学校がある」とお伝え頂けませんでしょうか。』と書かれています。夜間中学に限らず、作品の主人公と同様な生き辛さを感じている方がもしも周りにいらしたら、生き方の選択肢はたくさんある。明日を、あきらめないで。そう伝えていただきたいと思います。まずは、本作品をぜひお読みください。

